

問 国の物価高騰対応のうち「重点支援地方交付金」に対する現時点での本市のプランは。地域経済の波及効果も考慮し、広く市民に行き渡る支援も含め、効果的な物価高騰対策となるよう取り組む。



学校教育環境について

問 多様化していく不登校への対応としてまだまだできることがある。不登校対策について市単独では限界がある要素については、国や県へのより強力な要望が必要ではないか。

答 近年は不登校の背景が複雑で一人ひとりに適した支援が求められているため、学校間の情報共有や関係機関との情報交換を密に行い、ニーズの高いスクールカウンセラーの配置拡充などについて国や県への要望を

継続する等、様々な対策を講じながら、児童生徒に寄り添った指導や支援に努めていく。

問 今後の鹿角市存続への様々な課題解決のために財源確保は欠かせない。そこで、短期的・飛躍的に財源確保を可能とするふるさと納税へのさらなる強力な取り組みが必要ではないか。

答 様々な課題がある中で他自治体と比較される寄附金額の設定を抑え、返礼率を上げるなど、本市が寄附者から選ばれる方策を引き続き検討していくとともに、中間管理事業者と共に新たな返礼品となる商品開発や返礼品提供事業者の新規

開拓を強化していく。

質問した項目

- 政府補正予算案への対応について
- 学校教育環境について
- 地域間交流について
- ふるさと納税について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員 (新時代かづの)

質問時間 60分

[議案第59号] 第7次鹿角市総合計画基本構想の変更について

問 なぜ後期基本計画の策定に先立って基本構想を変更するのか。
答 基本構想は本市の最上位の計画である。先に基本構想を変更し、それに沿って、令和8年度以降の後期基本計画及び全ての個別計画をつくる考えである。

問 今回の変更は文章の手直しと数字の更新が中心のようだが、どのような考え方で判断したのか。
答 本基本構想は令和2年12月に議会の議決を経て定められたものである。議決を経たということは重く受け止めるべきと考え、必要最低限の変更にとどめている。

[議案第80号] 令和7年度鹿角市一般会計補正予算(第6号)

問 (地域情報化推進対策費) 市内の光ファイバーケーブル整備によるインターネットの接続可能率は。
答 住民がいる宅地・住宅であれば、光ファイバーケーブルによるインターネット接続が全て可能な状態であり、接続可能率は100%である。

[議案第60号] 指定管理者の指定について (先人顕彰館)

問 施設利用者を増やす取り組みを検討すべきではないか。
答 今年度策定した文化財保存活用地域計画に基づき、今後、先人を顕彰するより効果的な方策について検討を進めていく。

[議案第77号] 鹿角市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

問 具体的な虐待事例があるのか。また、報告体制はどのようになっているのか。
答 現在まで虐待の報告はない。虐待発生時には、各施設の園長から市へ報告される体制である。

[議案第79号] 鹿角市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 市で想定している乳児等通園支援事業の区分は。
答 市内保育施設の定員は890人で現在の利用者数はおおよそ3分の2であり、余裕がある状況から余裕活用型を進めていきたい。